



【JHUPPO 通信 No. 20】 2009. 11. 18

【JHUPPO 通信】は JHUPPO 会員、日本プロテオーム学会の発起人及び会員の皆様に配信しています。

## 【研究会のご案内】千葉疾患プロテオミクス研究会

臨床応用を目指した、基礎系、臨床系のプロテオミクス研究の第一線で活躍される先生方を招き、下記の要領で公開シンポジウムを開催します。

日 時 2009年12月6日（日）13:00-18:00

場 所 千葉大学西千葉キャンパス（千葉駅から5分）

主 催 千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学

参加費 無 料 （懇親会 2000円）

URL : <http://www.m.chiba-u.ac.jp/class/moldiag/>

### プログラム

13:00 開会の辞 千葉大学 野村文夫

13:10～ 14:00 特別講演 1 司会: 千葉大学 中谷行雄

「免疫組織化学からみた腫瘍の特徴：病理診断・治療への応用」

東海大学 梅村しのぶ

14:00～ 14:50 特別講演 2 司会: 医薬基盤研究所/千葉大学 朝長 毅

「電場型 FT-MS によるプロテオミクスの基礎および網羅的タンパク質同定から翻訳後修飾解析・発現変動解析の実際」

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社 肥後大輔

15:10～ 17:50 シンポジウム

司会: 北里大学 小寺義男、千葉大学 松下一之

1 「SRM 法を用いた血清中の診断マーカー候補タンパク質・ペプチドの定量解析」 北里大学 小寺義男

2 「ELISA 法による新規肝障害マーカー 5.9kDa ペプチドの特異的測定法の開発」 ニッターボーメディカル株式会社 三浦俊英

3 「非小細胞肺癌に対する重粒子線治療前後の血清ペプチドーム解析」

重粒子医科学センター病院 中嶋美緒

4 「網羅的プロテオミクスで得られた情報を医学生物学的にはどう絞り込むのか～トランスクリプトーム解析から得られる教訓」 千葉大学 西村 基

5 「プロテオーム解析による早期乳癌関連蛋白の同定と臨床応用の検討」  
千葉大学 門脇正美

6 「プロテオーム解析による細菌毒素宿主受容体の同定と性状解析」  
千葉大学 八尋錦之助

7 「当研究で見出された腫瘍マーカー候補 plectin-1 と clathrin heavy chain について」  
千葉大学 松下一之

閉会 18:00～ 懇親会

(投稿：松下一之)

## 【日本ヒトプロテオーム機構(JHUP0)の学会化】

JHUP0 は、今年末までに学会化され、日本プロテオーム学会になります。プロテオミクス分野の方々にご入会をお勧め下さいますようお願いいたします。詳しい情報は、【JHUP0 通信 No. 16】(JHUP0 ホームページ、<http://www.jhupo.org/>) をご覧下さい。

お問い合わせ先

日本ヒトプロテオーム機構 (JHUP0)

事務局 庶務担当理事 朝長 毅

(独立行政法人 医薬基盤研究所 プロテオームリサーチプロジェクト)

TEL : 072-641-9811 (ext : 3501)

E-mail: [hyodo@nibio.go.jp](mailto:hyodo@nibio.go.jp)

【JHUP0 通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい

(宛先は [hirano@yokohama-cu.ac.jp](mailto:hirano@yokohama-cu.ac.jp))。ご意見を【JHUP0 通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】は、JHUP0 事務局 ([cljhupo@secretariat.ne.jp](mailto:cljhupo@secretariat.ne.jp)) にお問い合わせいたします。